



2024年12月期
第3四半期
決算説明資料



2024年11月22日
株式会社やまびこ



INDEX

1. 2024年12月期 第3四半期 決算概要

3

2024年12月期 第3四半期 経営成績	4
2024年12月期 第3四半期 販売状況	5
連結売上高および連結営業利益の増減	6
四半期別業績推移	7
セグメント別経営成績	8
売上高実績（セグメント・地域別）	9

2. 2024年12月期 業績予想

10

2024年12月期 通期予想	11
連結売上高のセグメント別増減予想（円換算ベース）	12
連結営業利益の増減予想	13
売上高目標（セグメント・地域別）	14
設備投資・研究開発費・減価償却費	15
株主還元政策	16
TOPICS①	17
TOPICS②	18
やまびこの存在意義	19

APPENDIX

20

会社概要	21
やまびこの歩み	22
業績推移と売上構成	23
事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	24
事業セグメント：農業用管理機械	25
事業セグメント：一般産業用機械	26
国内生産体制	27
海外生産体制	28
販売体制	29
主要販売子会社：やまびこジャパン株式会社	30
主要販売子会社：エコー・インコーポレイテッド	31
主要販売子会社：やまびこヨーロッパ・エス・エイ	32
主な販売経路	33
国内・海外のユーザー	34

1

2024年12月期 第3四半期 決算概要

2024年12月期 第3四半期 経営成績

- 売上高は前年同期比で増収。主力のOPE^(※)が北米市場におけるテレビ広告などのプロモーション効果や良好な天候を背景に、ホームセンター向けを中心に伸長し成長を牽引。
- 損益面についても、中国生産子会社の清算による収益改善に加え、円安による追い風もあり、営業利益、経常利益、最終利益のいずれも前年同期比で増益。

売上高

127,151百万円

(前年同期比 +7.9%)

営業利益

17,238百万円

(前年同期比 +30.1%)

親会社株主に帰属する

当期純利益

13,430百万円

(前年同期比 +48.4%)

(百万円)	23/12期 3Q 実績	構成比 (%)	24/12期 3Q 実績		
			構成比 (%)	前年同期比 (%)	
売上高	117,821	100.0	127,151	100.0	+ 7.9
売上原価	80,146	68.0	83,107	65.4	+ 3.7
販管費	24,421	20.7	26,805	21.1	+ 9.8
営業利益	13,253	11.2	17,238	13.6	+ 30.1
経常利益	13,796	11.7	17,017	13.4	+ 23.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,051	7.7	13,430	10.6	+ 48.4

為替レート

1ドル	138 円	152 円	+ 10.3
1ユーロ	148 円	165 円	+ 11.1

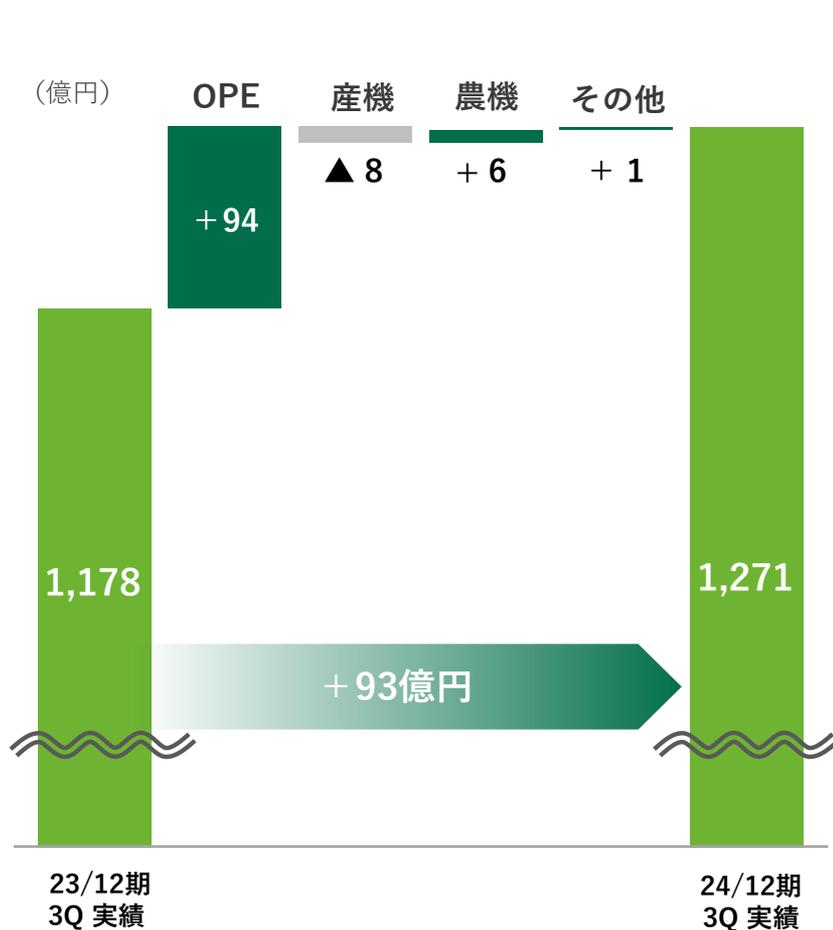
(※) 「OPE」 = Outdoor Power Equipment

2024年12月期 第3四半期 販売状況

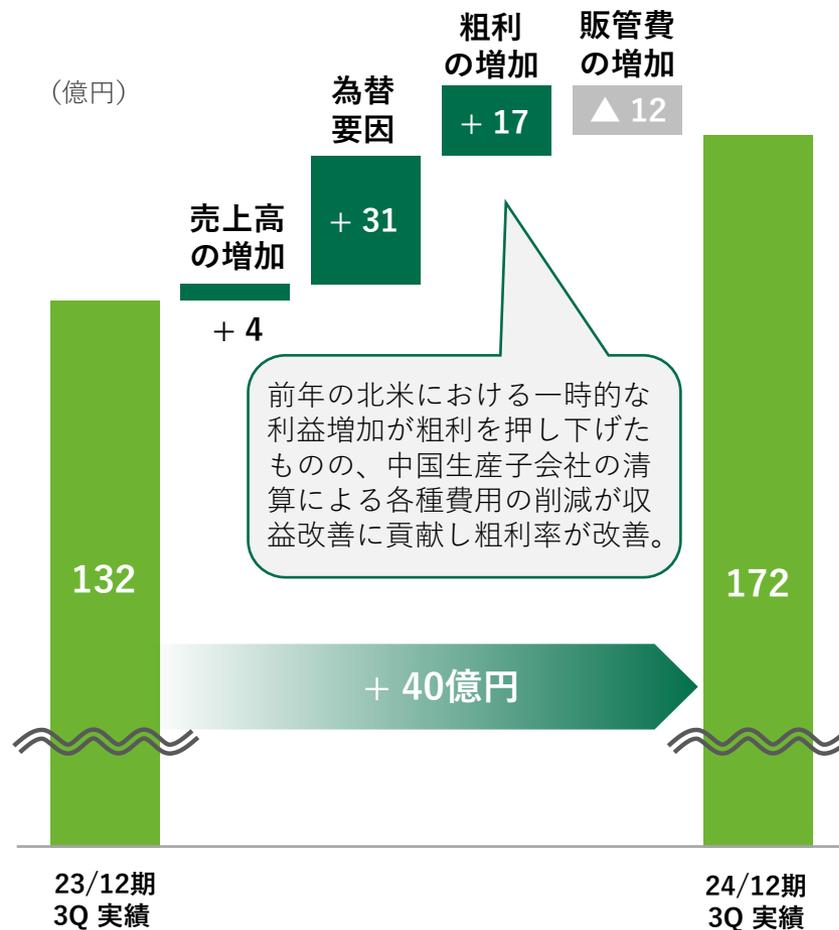
(百万円)		23/12期 3Q 売上高	24/12期 3Q 売上高	前年同期比(%)	概要	(ご参考) 前年同期比(%) ※為替影響除く	
小型屋外 作業機械 (OPE)	国内	11,359	11,377	+ 0.2	チェーンソーの販売が減少したものの、新製品効果による刈払機の販売増加が補い、前年並みを維持。	+ 0.2	
	海外	北米	57,436	68,541	+ 19.3	バッテリー製品のラインアップを強化し、エンジン製品との相乗効果を狙った販売促進策を実施した結果、ホームセンター向けの販売が増加。	+ 8.9
		欧州	11,013	9,107	▲ 17.3	パターン走行可能な新型ロボット芝刈機は伸長したものの、年初からの代理店による在庫調整の影響で減収。	▲ 24.7
一般産業用 機械	国内	7,138	7,148	+ 0.1	好調な建設工事需要を背景にディーゼル溶接機の販売が好調も、ディーゼル発電機における一部製品の部品納入遅れが影響し、前年並みを維持。	+ 0.1	
	海外	5,596	4,699	▲ 16.0	北米市場において、年初に実施した一部製品の改修は完了したものの、当初予定した販売体制の立ち上げに時間を要したことで減収。	▲ 21.2	
農業用 管理機械	国内	12,159	13,442	+ 10.5	草刈りシーズンの長期化により、草刈り作業の省力化に寄与する製品や、新製品の乗用型鶏舎向け防除機の販売が伸長し増収。	+ 10.5	
	海外	7,098	6,460	▲ 9.0	北米市場において穀物市況の下落や高い金利水準を背景に、一部販売店に在庫圧縮を図る動きが見られ減収。	▲ 16.8	

連結売上高および連結営業利益の増減

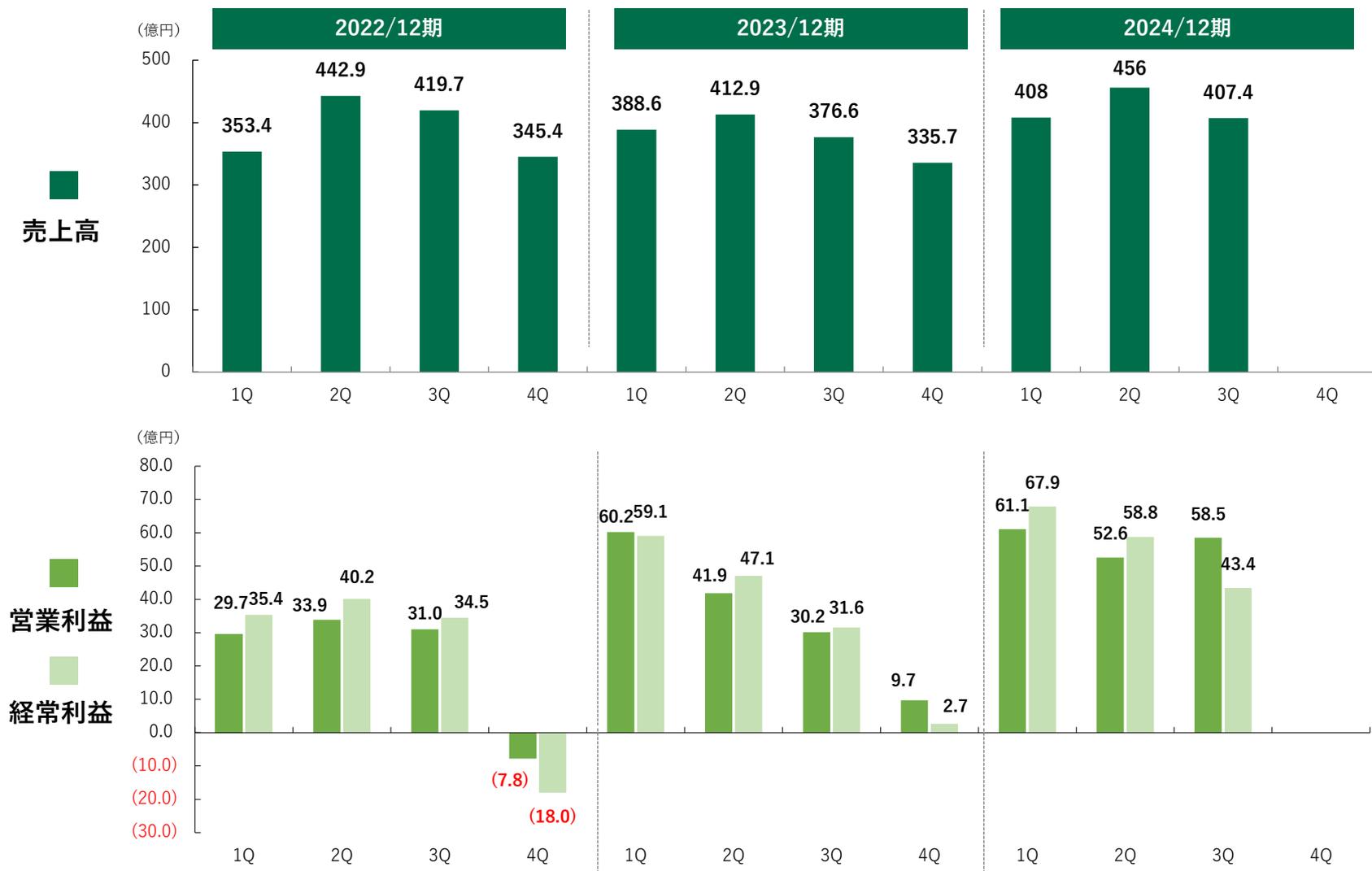
売上高



営業利益



四半期別業績推移



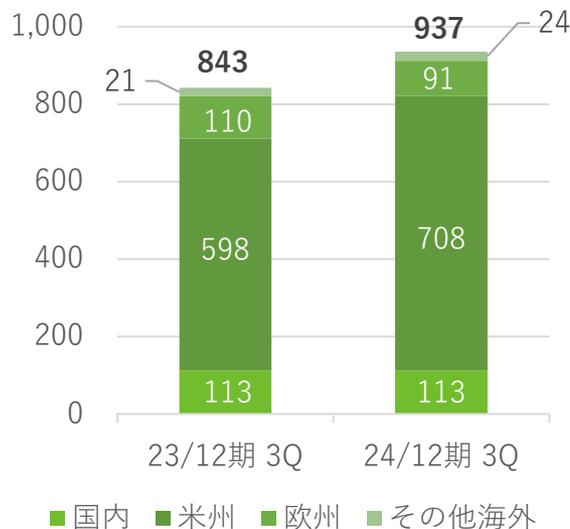
セグメント別経営成績

(百万円)	23/12期 3Q 実績		24/12期 3Q 実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	117,821	100.0	127,151	100.0	+ 7.9
小型屋外作業機械	84,380	71.6	93,790	73.8	+ 11.2
一般産業用機械	12,735	10.8	11,847	9.3	▲ 7.0
農業用管理機械	19,257	16.3	19,903	15.7	+ 3.4
その他	1,447	1.2	1,610	1.3	+ 11.2
営業利益	13,253	-	17,238	-	+ 30.1
小型屋外作業機械	17,123	129.2	22,896	132.8	+ 33.7
一般産業用機械	1,609	12.1	1,351	7.8	▲ 16.0
農業用管理機械	1,546	11.7	982	5.7	▲ 36.5
その他	285	2.2	331	1.9	+ 16.0
全社共通費	▲7,311	-	▲8,322	-	-

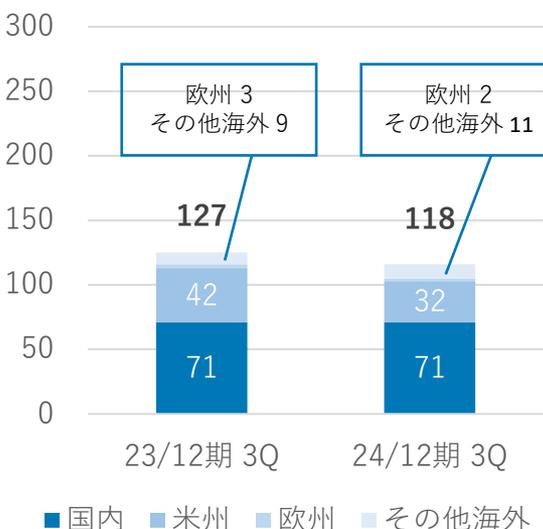
売上高実績（セグメント・地域別）

(単位：億円)

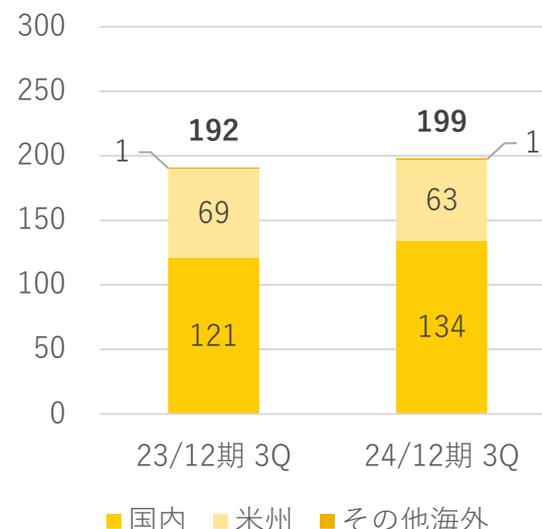
小型屋外作業機械（OPE）



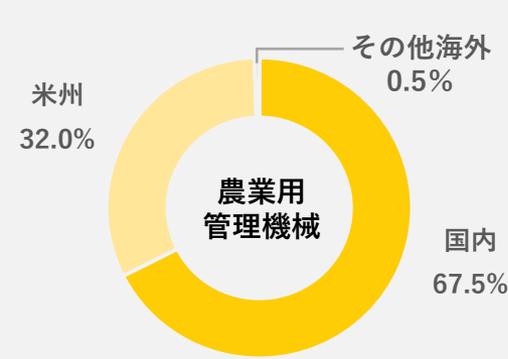
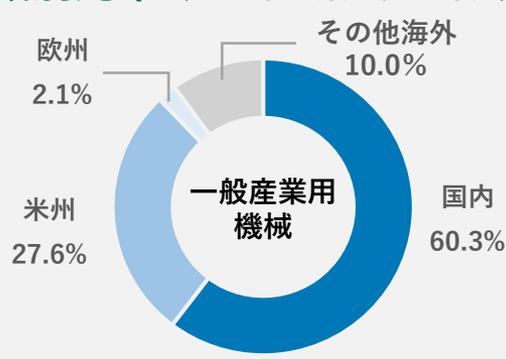
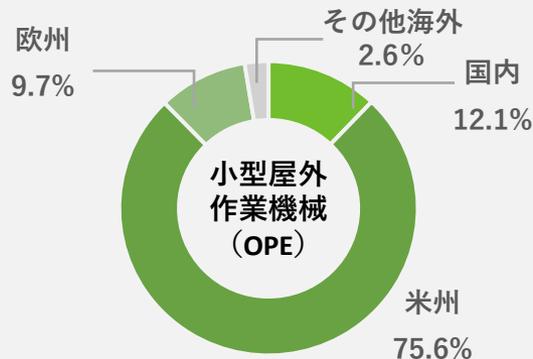
一般産業用機械



農業用管理機械



地域別比率（2024年12月期第3四半期）



2

2024年12月期 業績予想

2024年12月期 通期予想

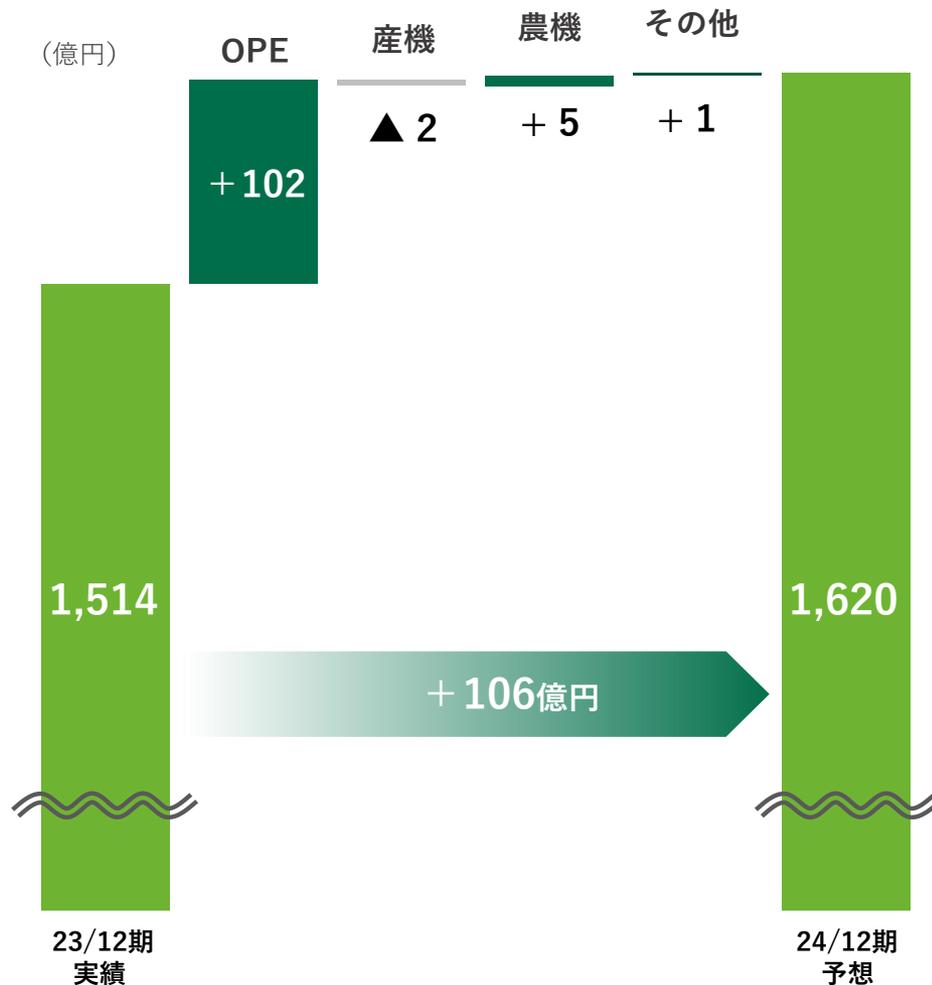
- 3Qまでの業績進捗や、直近の為替状況を踏まえ想定為替レートの見直しを行った結果、売上高を1,620億円に上方修正。海外OPEは、北米のホームセンター向けが順調に推移する見通し。また、国内も新製品販売が好調な農業用管理機械の増収を見込む。
- 損益面も、前回公表時から営業利益を185億円、経常利益を185億円、最終利益を140億円に上方修正。

(百万円)	23/12期 実績	構成比 (%)	24/12期 予想			24/12期 前回予想(8/9発表)
			構成比 (%)	前年比 (%)		
売上高	151,400	100.0	162,000	100.0	+ 7.0	160,000
売上原価	104,095	68.8	107,000	66.0	+ 2.8	106,000
販管費	33,073	21.8	36,500	22.5	+ 10.4	36,500
営業利益	14,230	9.4	18,500	11.4	+ 30.0	17,500
経常利益	14,066	9.3	18,500	11.4	+ 31.5	17,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,097	6.0	14,000	8.6	+ 53.9	13,000

為替レート	23/12期 実績	24/12期 4Q予想	24/12期 (※) 通期予想	24/12期 通期予想(8/9発表)
1ドル	141 円	145 円	150 円	145 円
1ユーロ	151 円	155 円	161 円	156 円

(※) 4Q以降を 1ドル:145円 1ユーロ:155円 と想定した場合の通期予想レート

連結売上高のセグメント別増減予想（円換算ベース）



小型屋外作業機械(OPE)

持続的成長を続ける緑地管理市場に支えられ、安定的な成長を予想。特に北米においてホームセンター向けが順調に推移し、増収の見通し。

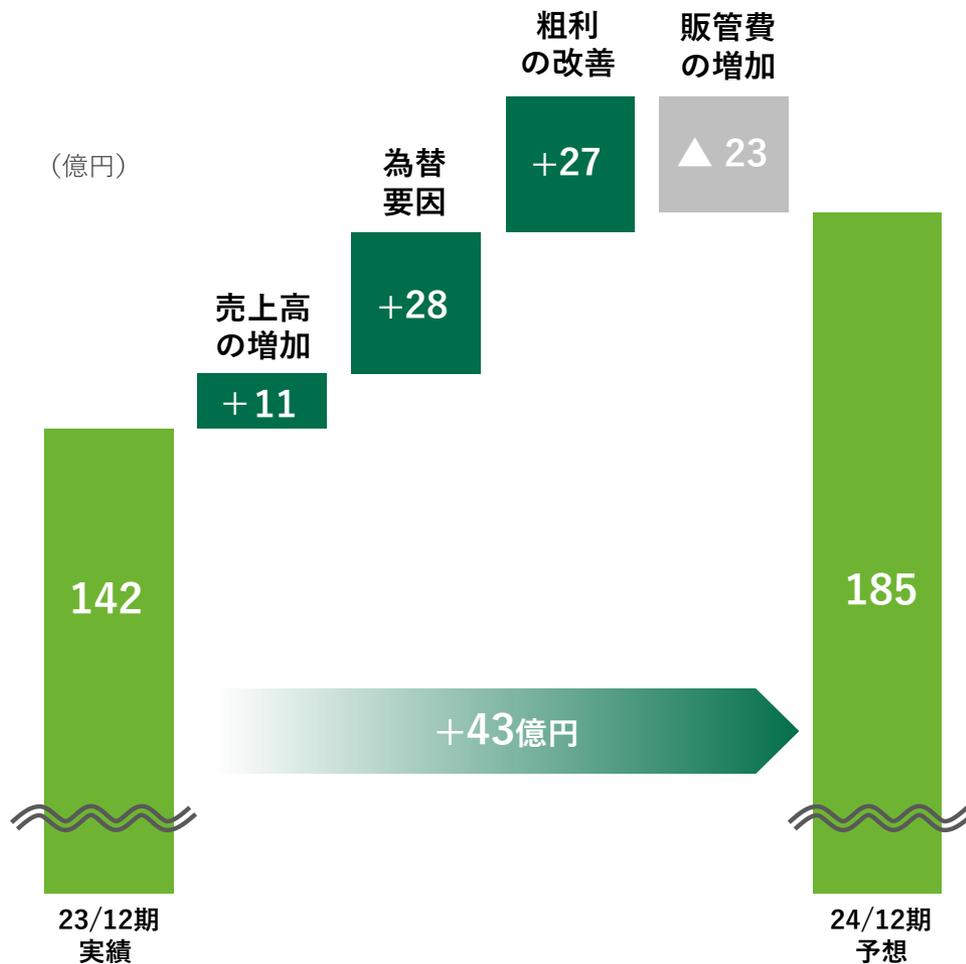
一般産業用機械(産機)

国内は安定した建設・インフラ需要が続く、堅調に推移。海外は北米市場において年初に実施した一部製品の改修は完了したものの、当初予定した販売体制の立ち上げ遅れにより、減収を見込む。

農業用管理機械(農機)

北米市場は穀物市況下落や金利上昇の影響により減収を見込むも、国内は農業従事者の購買意欲が回復傾向にあることから増収の見通し。

連結営業利益の増減予想



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の増加による利益増。

為替要因

前期対比での円安による利益の増加。

粗利

中国生産子会社の清算による各種費用の削減が収益改善に寄与することなどから粗利が改善。

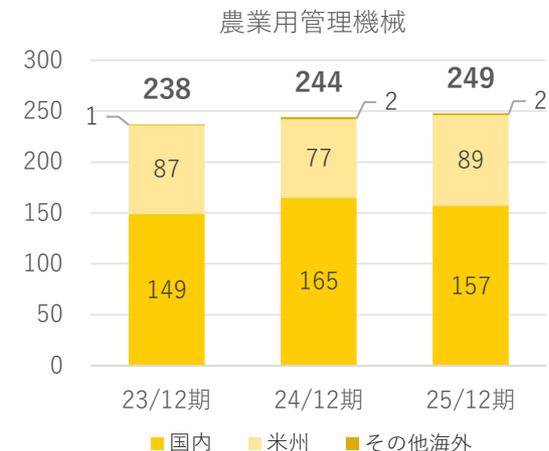
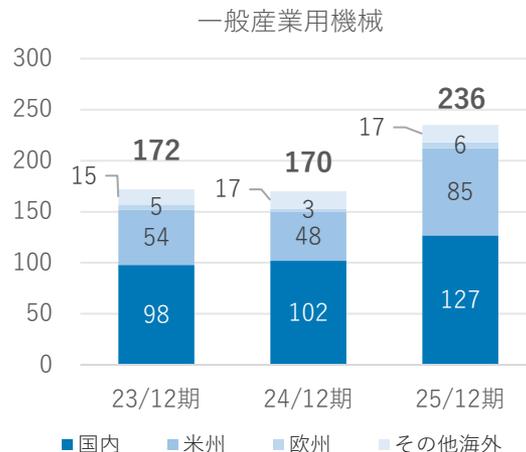
販売管理費

新規事業や新製品の開発投資、IT開発費用やマーケティング費用などの増加。

売上高目標（セグメント・地域別）



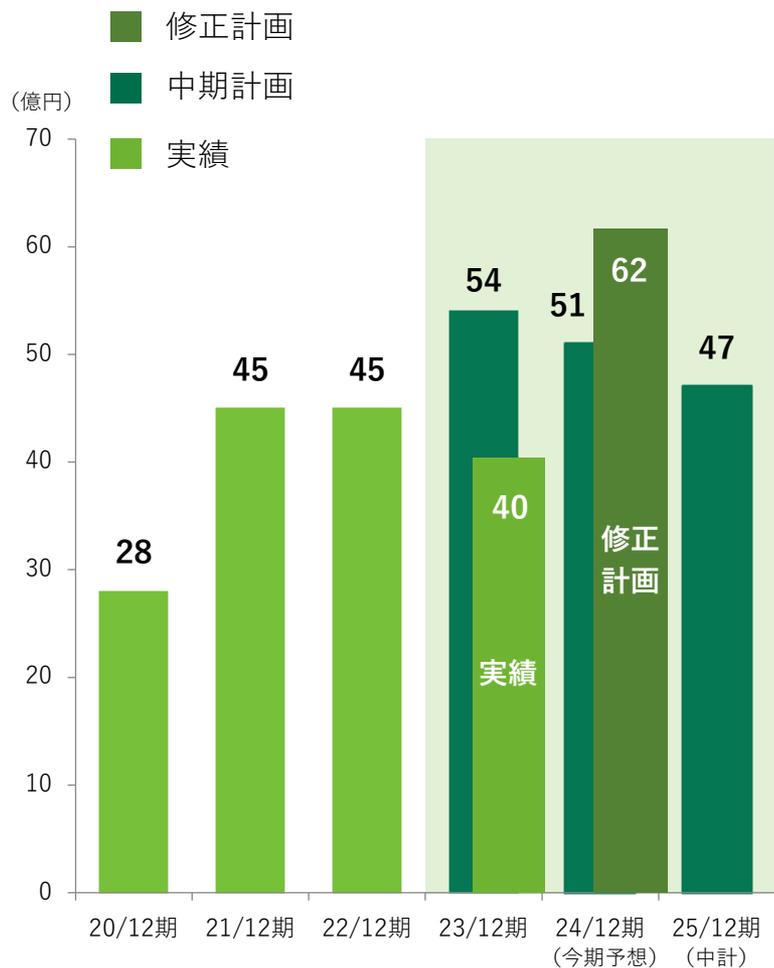
セグメント・地域別売上高



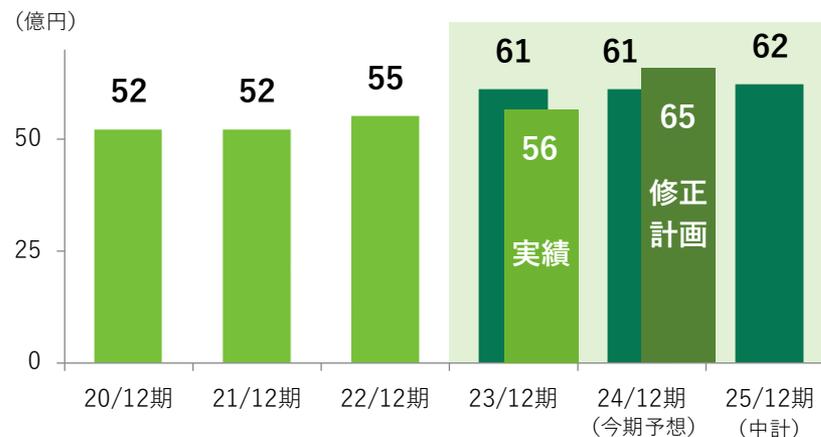
※主要セグメントに含まれない「その他」の売上が、23/12期 22億円、24/12期 24億円、25/12期 44億円 あります。

設備投資・研究開発費・減価償却費

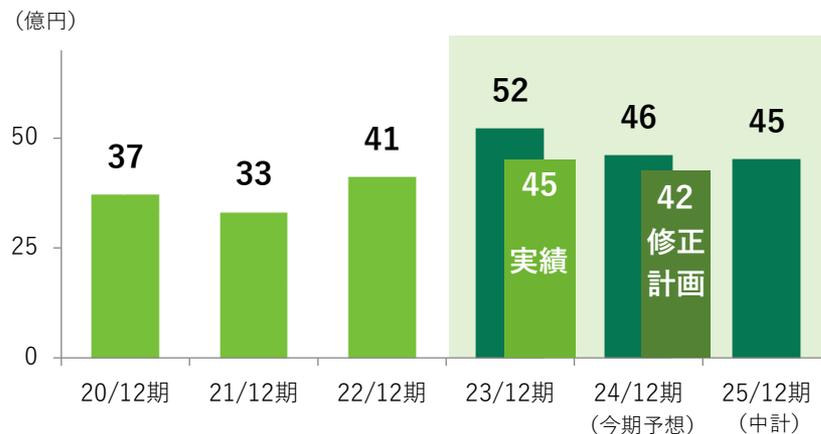
設備投資



研究開発費



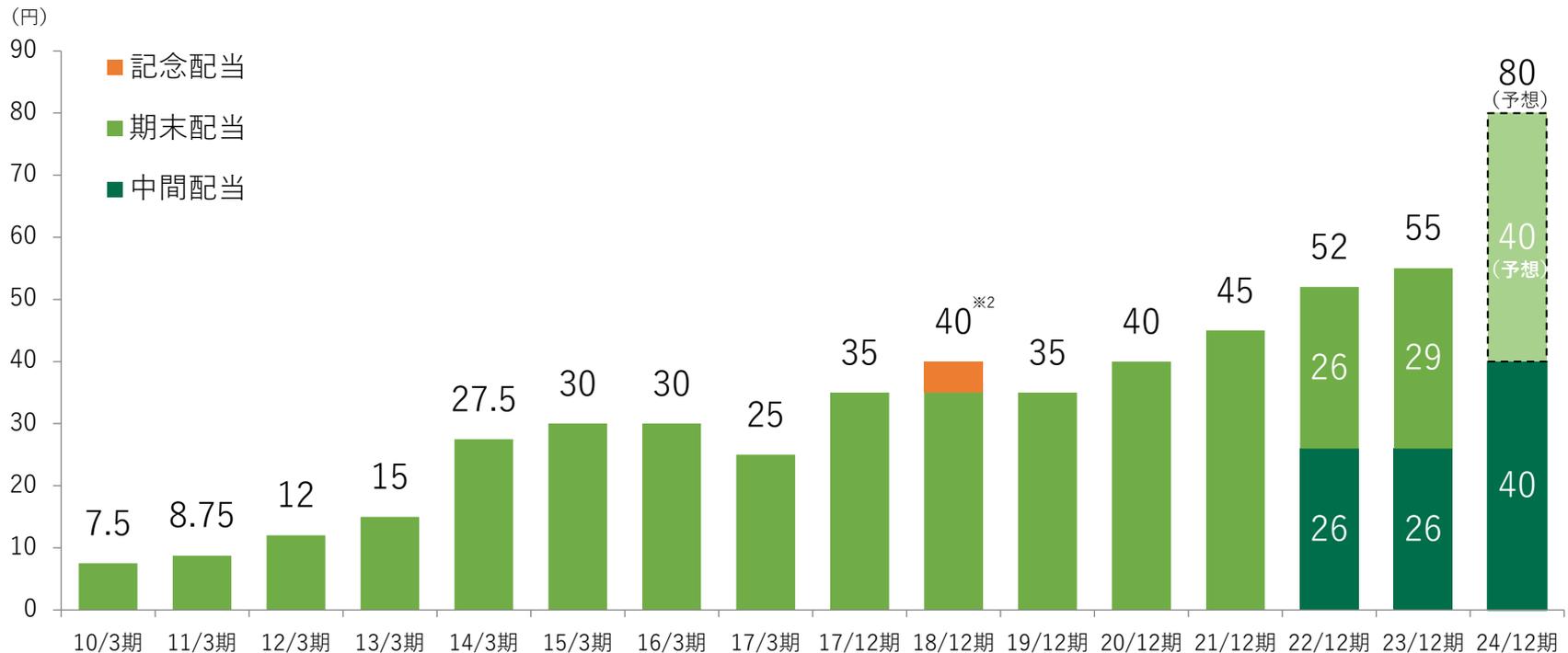
減価償却費



株主還元政策

過去の配当実績に基づき、安定的な配当を継続

- 経営環境や業績および財務状況を勘案するとともに、株式市場の動向も注視して総合的な還元策を検討
- 中長期的な企業価値向上を見据え、自己株式の取得を実施（2024年3月～2024年5月に30万株を取得済）
- 業績の進捗状況や中長期的な展望を踏まえ、今期の配当は期初予想60円から20円の増配を予想



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。

※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

TOPICS①

第14回農業WEEKへの出展

- 第14回農業WEEK（J-AGRI）に出展しました。協業企業様と開発中のバッテリーツールや自律走行型草刈機、マルチハイブリッドシステムなど、農作業の電動化、省人化・省力化、カーボンニュートラルに寄与する製品やサービスを幅広くご紹介しました。



自律走行型草刈機
RCM600AUTO II (コンセプトモデル)



協業企業様と開発中のバッテリーツール

新開発 BESS型 「shindaiwa 50kVAマルチハイブリッドキューブ」を実証運用

- 大容量の50kVAパワーコンディショナーを搭載したBESS型「shindaiwa 50kVAマルチハイブリッドキューブ」を新開発しました。
- 太陽建機レンタル株式会社との協業により、2024年9月から静岡県工事現場に導入し、来年度の販売開始へ向けた実証運用を開始しました。



BESS型「shindaiwa 50kVAマルチハイブリッドキューブ」

TOPICS②

米国子会社エコー・インコーポレイテッドが各賞を受賞

- 年間使用電力の約4割を再生可能エネルギーで賄うなど、環境への取り組みが評価され、本社のあるイリノイ州レイクズーリックから、環境保護や持続可能な未来へ貢献する企業に授与されるグリーンビジネス賞を受賞しました。
- 主要なお客様であるホームデポから、長年の顧客体験向上に向けた取り組みや、地域貢献活動における強固なパートナーシップが評価され、インターコネクテッド・パートナー・オブ・ザ・イヤー賞を受賞しました。



グリーンビジネス賞授賞式の様子
レイクズーリック首長トム・ポイントン氏(右から2番目)
エコーインク社長ハロルド・レッドマン(左から2番目)

DTT-2100がイノベーションメダルを受賞

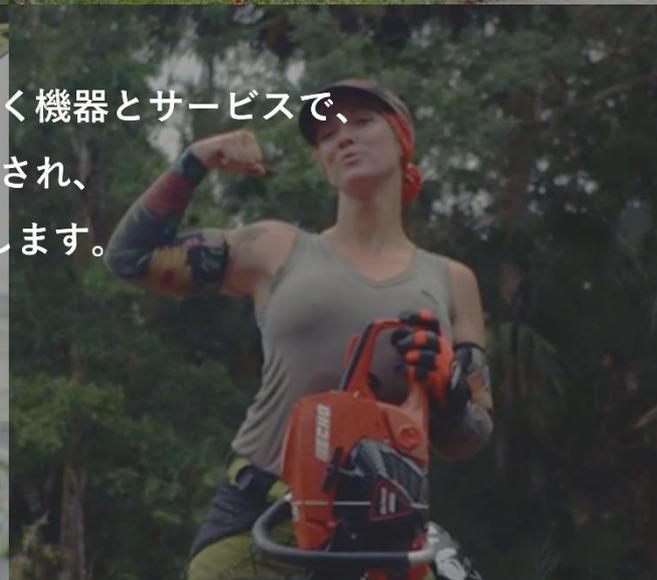
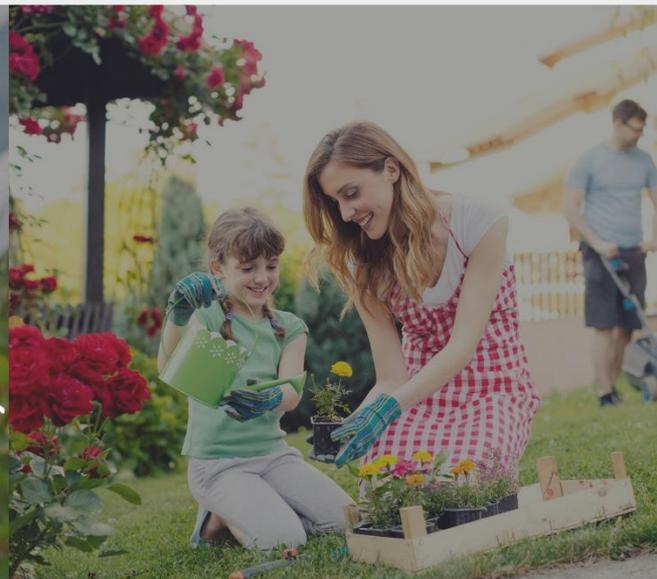
- ドイツのニュルンベルクで開催された欧州最大規模の造園展示会「GaLaBau 2024」でバッテリー式のT字型草刈機「DTT-2100」がイノベーションメダルを受賞しました。
- イノベーションメダルは革新的な技術やサービスを提供した企業に贈られるもので、DTT-2100はバッテリー駆動で環境にやさしく、通常の刈払機では作業が難しい領域でも効率的に草刈りが可能な点が評価されました。



GaLaBau 2024の様子



DTT-2100
バッテリー駆動で環境にやさしく、石の飛散が少ない



私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。

APPENDIX

会社概要

会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	151,400百万円 (2023年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	14社※ (国内6社・海外8社/2023年12月末現在)
従 業 員 数	3,120名 (2024年6月末現在/連結)
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2024年6月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社1社を除く

やまびこの歩み



世界初となる手持ちブロウに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ **ECHO**



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ **shindaiwa** **ECHO**

株式会社 共立

設立 1947年 (昭和22年)

YAMABIKO

株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)

新タイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

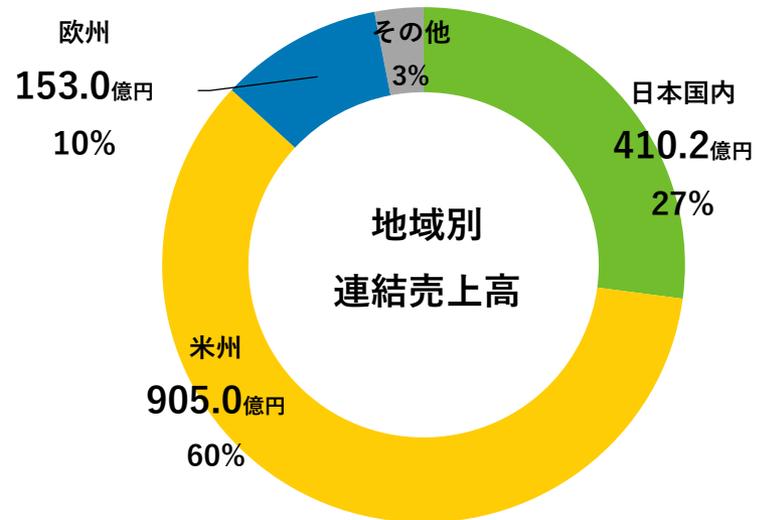
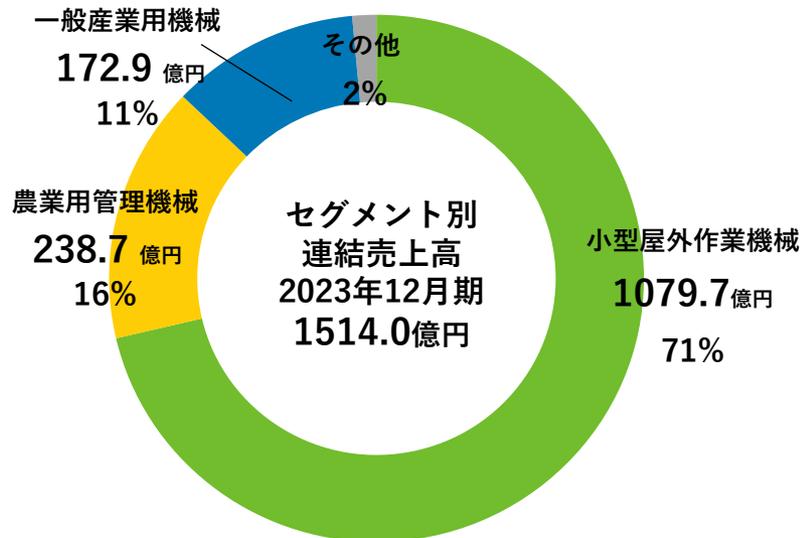
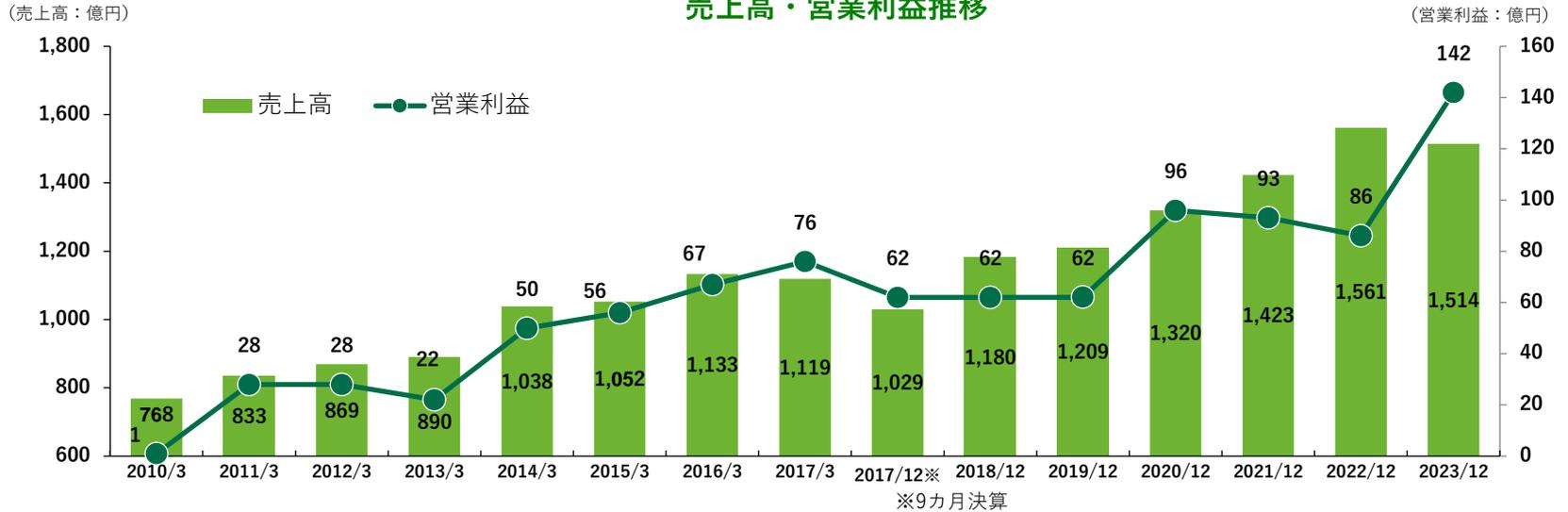
shindaiwa

社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

業績推移と売上構成

売上高・営業利益推移



事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）



売上高構成比

71.3%

（2023年12月期）

国内は農家・林業家の芝刈や伐木用として、海外はOPE※と称され、主に緑地管理を事業とする専門業者が庭や緑地の管理に使用する作業機として販売

海外においては造園業など緑地管理を事業とする専門業者向けのプロユーザー市場と主に自家用で使用する住宅所有者向けの一般ユーザー市場に分類

製品は動力源にエンジンやモーターを搭載した屋外作業機のほか、ロボット芝刈機も含む



市場ニーズを満たす製品開発力

- 動力源を問わず、プロユーザー向けの高い作業効率を持つ製品を開発



出力 × 作業時間 = 仕事量

技術的な強み

高品質・環境規制に適合したエンジン

- 小型・軽量・高出力(手持機械に最適)・低コスト
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

環境負荷低減と作業性の両立

- プロサイドに立った出力・制御技術に優れる電動製品
- 化石燃料から代替燃料への適用技術

※Outdoor Power Equipment

事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

15.8%

(2023年12月期)

国内における防除機械、
北米における
農作物収穫機械の製造販売



技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、 スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

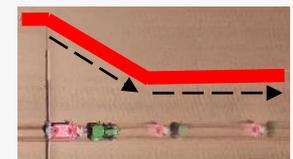


やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110~270 ミクロン）

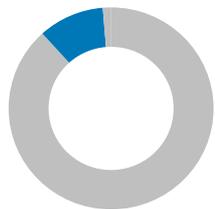


ICT

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



事業セグメント：一般産業用機械



売上高構成比

11.4%

(2023年12月期)

建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる
機械の製造販売



ハイブリッド溶接機

2023年度省エネ大賞受賞

CO₂排出量を約**60%**削減
脱炭素社会へ貢献する革新の溶接機



発電機



投光器

技術的な強み



世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)

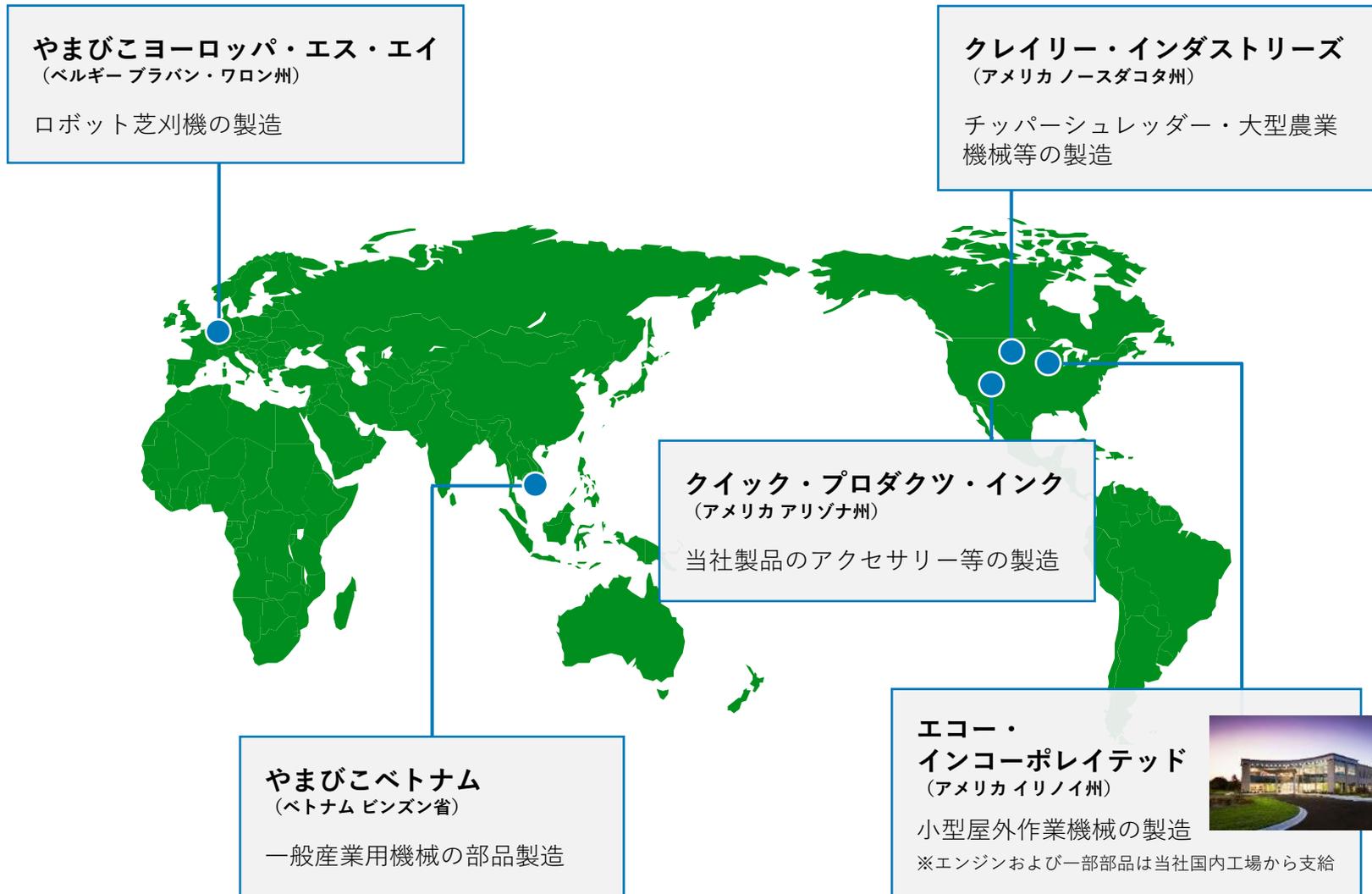


「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた
2つのエコ機能の開発

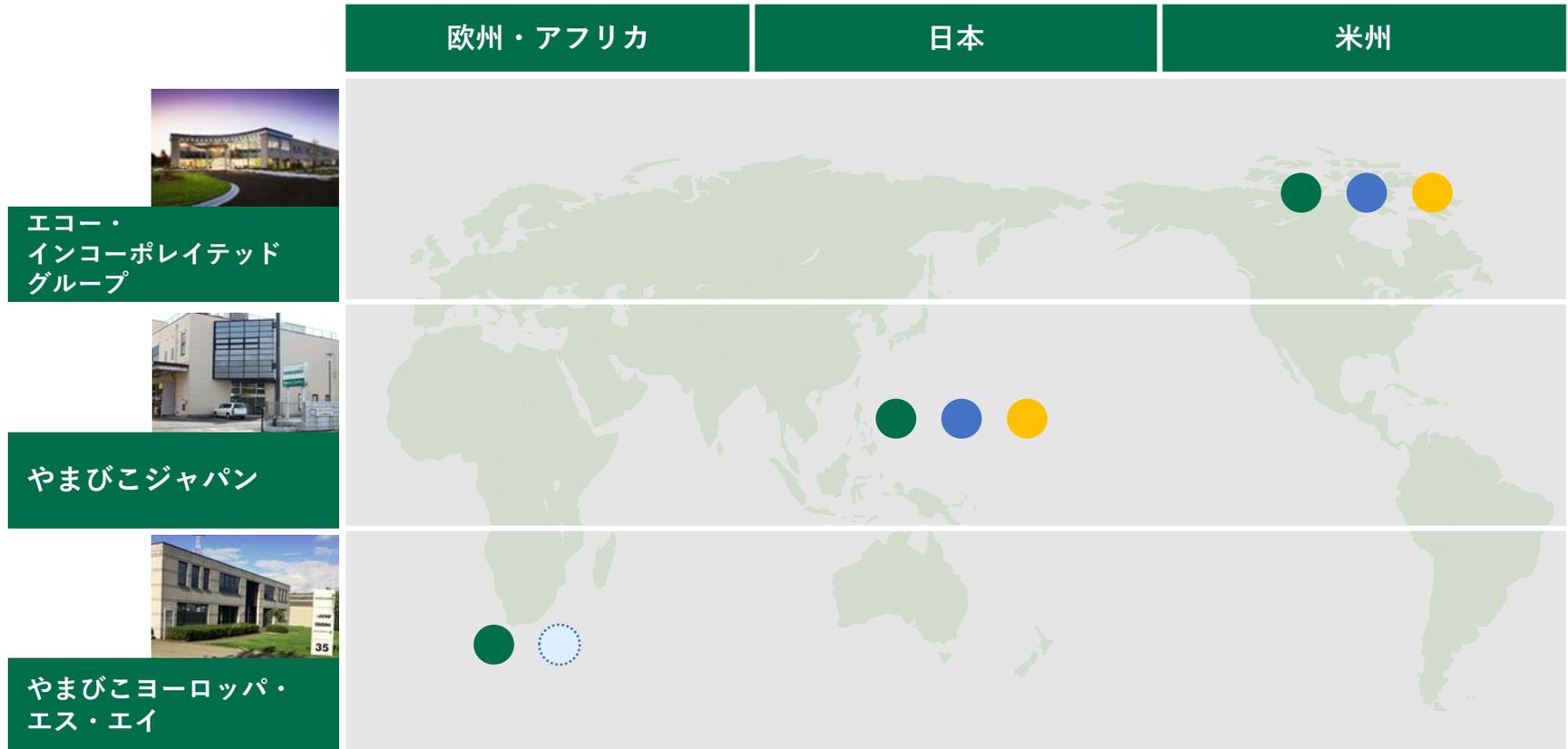
国内生産体制



海外生産体制



販売体制



● 小型屋外作業機械 (Outdoor Power Equipment)
 ● 一般産業機械
 ● 農業用管理機械

※アジア・中東・オセアニア地域にはやまびこ本社から販売

主要販売子会社

やまびこジャパン株式会社

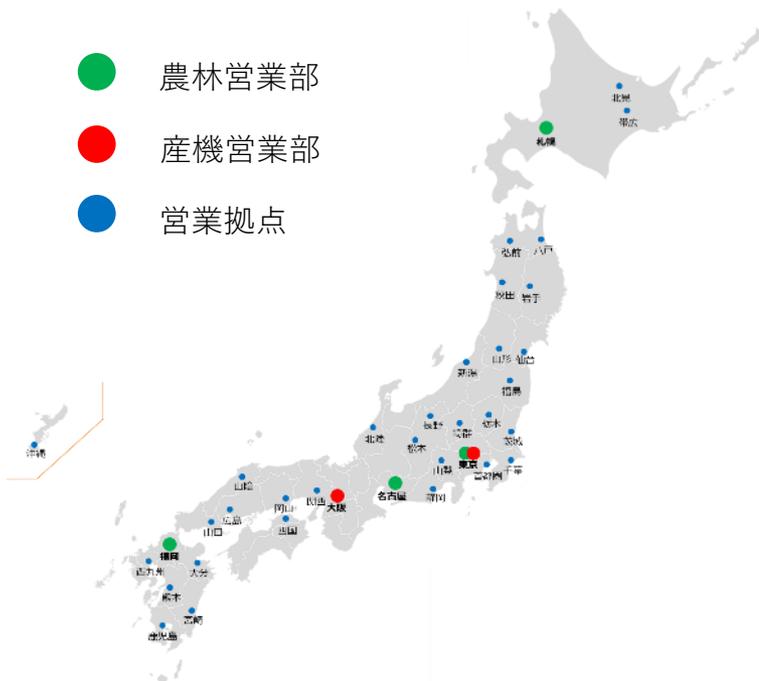
会社名 やまびこジャパン株式会社
設立 2017年6月
本社 東京都青梅市
拠点 6営業部 38拠点

日本市場における販売拠点

多様な販売ルートと充実の営業体制で
3事業3ブランドの販売を担う

国内販売拠点一覧

- 農林営業部
- 産機営業部
- 営業拠点



充実した営業体制

- 共立・新ダイワ・エコーの3ブランドを販売
- 国内6営業部、38拠点の充実した営業体制
- 全社員の7割が営業・サービスに従事

セールス＝エンジニアとして迅速なサービス提供

- 高い専門性を有する社員がアフターサービスまで一貫して対応
- 農機具販売店やホームセンター、建機レンタル会社などの幅広い販売ルートを通じて多くのお客様に製品を提供

主要販売子会社



会社名 エコー・インコーポレイテッド
 設立 1972年11月
 本社 アメリカ・イリノイ州
 子会社 3社

エコー・インコーポレイテッドグループ

クレイリー・インダストリーズ
(アメリカ ノースダコタ州)
 大型農業機械等の製造・販売

エコーパワーイクイップメント
(カナダ オンタリオ州)
 小型屋外作業機械・農業機械の販売



クイック・プロダクツ・インク
(アメリカ アリゾナ州)
 当社製品のアクセサリー等の製造

エコー・
 インコーポレイテッド
(アメリカ イリノイ州)
 小型屋外作業機械・一般産業用機械の
 製造・販売



米州で50年続くECHOブランド

OPE・産業機械・大型農機用補助機の 製造・販売拠点

やまびこグループ最大の販売会社

- 1972年の設立以来、米州市場で小型屋外作業機械を販売グループ売上高の6割を占める（2023年実績）

OPE市場をリードするECHOブランド

- パワーブロウ（1978年）や芝生の溝切機（1990年）など世界初となる製品を投入し常に市場をリード
- 「Xシリーズ」をはじめプロユーザーから信頼を集める



世界初のパワーブロウ



プロ向け製品群「Xシリーズ」

主要販売子会社

YAMABIKO EUROPE SA

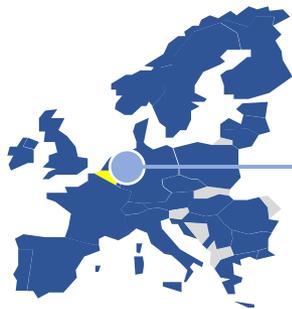
会社名 やまびこヨーロッパ・エス・エイ

設立 2002年3月

本社 ベルギー・ブラバン・ワロン州

欧州地域の販売拠点

欧州・アフリカの34か国に販売



やまびこヨーロッパ・エス・エイ

自動芝刈機の製造・販売
および小型屋外作業機械の販売



欧州地域のOPE販売とロボット開発拠点

2021年に完全子会社化 欧州販売戦略を推進し売上拡大を図る

ベルギーから欧州全域へ展開

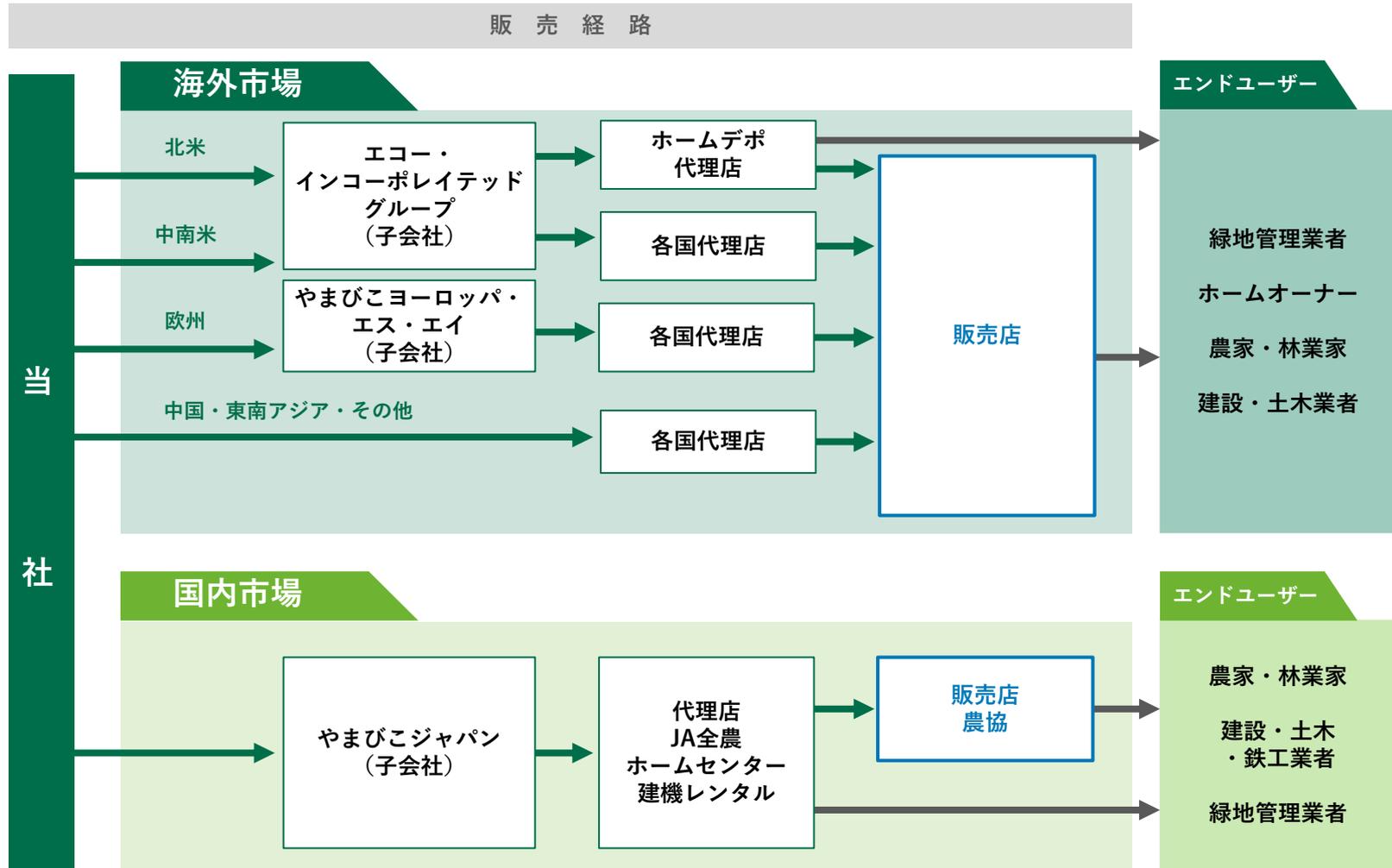
- 欧州・アフリカの34か国でOPE製品を販売
- 統一した販売戦略と代理店・販売店サポートにより更なる売上拡大を図る

お客様の声を取り入れた開発・販売体制

- ロボット芝刈機の普及が進む欧州でマーケットインの開発を行い、業界をリードするロボット芝刈機を開発・販売



主な販売経路



国内エンドユーザー



農家

建設・土木・
鉄工業者



林業家

海外エンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業家



建設・土木業者

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp